

## 第4回 西宮浜小中一貫校設置準備委員会 議事録

日 時：平成31年2月19日（火） 午後5時30分～午後7時30分

場 所：西宮市立西宮浜中学校 1階地域交流室

出席者：【委員】（14名）

大阪樟蔭女子大学山本教授、西宮マリナパークシティ協議会木村会長、  
教育連携協議会木挽委員長、青少年愛護協議会中村会計、加藤主任児童委員、  
西宮浜小学校PTA加藤会長、西宮浜中学校PTA堀兼会長、いるか幼稚園松本園長、  
西宮浜小学校清水校長、西宮浜小学校脇谷教頭、西宮浜中学校加莉校長、  
西宮浜中学校岡教頭、津田学校改革部長、佐々木学校教育部長

【事務局】（12名）

谷口学校改革調整課長、奥谷学校改革推進課長、木戸学校教育課長、乾教育研修課長、  
中島社会教育課長、因幡学校給食課長、村松学校改革調整課係長、小濱学校改革推進課係長、  
中津学校教育課係長、足立学校改革調整課嘱託職員、宮崎学校教育課嘱託職員、  
木村社会教育課嘱託職員

配布資料：資料①-1「校名・校章・校歌 の決め方」

資料①-2「第1回校名検討部会『次第』(案)」

資料①-3「第1回校名検討部会『設置準備委員会設置要綱』(案)」

資料①-4「第1回校名検討部会『全国義務教育学校名の型』」

資料①-5「アンケート第1案(保護者用)」

資料①-6「アンケート第1案(地域用)」

資料①-7「アンケート第2案(保護者用・地域用)」

資料①-8「アンケート第2案(アンケート用紙)」

資料②-1「閉校式『基本的な考え方』(案)」

資料②-2「閉校式についてのアンケートのまとめ」

資料②-3「開校式『市内・他市の例』」

資料②-4「開校式『アンケート』(案)」

資料③「給食」

資料④「校地間道路①」

資料⑤「学校教育目標」

資料⑥「校内検討体制 等」

資料⑦「広報」

資料⑧「アンケート」

資料⑨「第3回・第4回庁内開校準備委員会の報告」

資料⑩「前回(第3回設置準備委員会)以降の主な動き」

### 1. 開 式

- 事務局が開会を宣言。
- 佐々木委員より開会の挨拶。
- 初参加の出席者の紹介

## 2. 校名・校章・校歌の決め方について

- |                        |  |
|------------------------|--|
| <p>① 校名の決め方について</p>    | <p>委員長 ● 「校名・校章・校歌の決め方」の審議を行う。説明をお願いします。</p> <p>事務局 ● 校名の決め方について説明を行う。</p> <p>事務局 &lt;主な説明箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「校名検討部会」の設置 ※ 決定機関ではない</li> <li>・校名決定のための基本的な考え方</li> </ul> <p>委員 Q ○○学園になったら、義務教育学校と分らないのではないかと</p> <p>事務局 A 確かに小中一貫なのか、中高一貫なのか、公立か私立か分かりにくいといった意見は出るかもしれない。</p> <p>委員長 Q 公募の範囲はどこまで広げるのか。</p> <p>事務局 A 校名検討部会で検討することになる。</p> <p>事務局 ● 校名が長すぎると困ることが出てくる。</p> <p>小校長 ● 1年生も書くという想定で考える必要がある。</p>   |
| <p>② 校章・校歌の決め方について</p> | <p>事務局 ● 校章や校歌の決め方について説明を行う。</p> <p>事務局 &lt;主な説明箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校章と校歌については保護者や地域を含めた学校が決めること。</li> <li>・「校章・校歌制定委員会」の設立 ※ 決定機関である</li> <li>・校章、校歌決定のための基本的な考え方</li> <li>・将来的なコミュニティ・スクールの導入も踏まえ、「校章、校歌」を決定する過程は、地域と学校の主導で進め、先進的なモデルケースとしたい。</li> </ul> <p>委員 Q 校章と校歌は開校してから決めると聞いていたが。</p> <p>事務局 A 開校してからの状況が読みにくいと、できる限り余裕をもって、できることは先にやっておきたい。過去の新設校と違い、既に校舎があり、子供たちや教師も変わらないため、開校前が可能と判断した。</p> <p>委員長 ● では、今説明された進め方、スケジュール等を参考にし、地域が主体となって進めていただくことになるので、よろしく願いしたい。</p> |

## 3. 閉校式・開校式について

- |                  |   |
|------------------|---|
| <p>① 閉校式について</p> | <p>委員長 ● 「閉校式・開校式」の審議を行う。説明をお願いします。</p> <p>事務局 ● 閉校式の内容について説明を行う。</p> <p>事務局 &lt;主な説明箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に「閉校式」を行った学校とは異なるため、過去の例にこだわらない。</li> <li>・名称は「閉校式」とするが、内容は発展的解消を意図したものとする。</li> <li>・2部制にし、第1部は小・中別々、第2部は小・中合同で実施する。</li> </ul> <p>(例)</p> |
|------------------|---|

- 第1部 9:10～10:00 「西宮浜小学校閉校式」  
 第1部 10:20～11:10 「西宮浜中学校閉校式」  
 第2部 11:20～11:45 「1～9 学年集会」(中学校体育館にて)
- 委員長 ● この提案で進めてください。
- ② 開校式について ● 過去の西宮での開校記念式典の例と神戸や姫路の例の説明を行う。  
 事務局 ● 開校式についてはアンケートを実施して、内容を考えていきたい。
- 委員長 ● この提案で進めてください。

#### 4. 給食について

- 委員長 ● 「給食」についての審議を行う。説明をお願いします。
- ① 給食について ● 給食の仕方について説明を行う。
- 事務局 <主な説明箇所>
- ・費用面、作業面、運用面を考慮し、5・6年生だけ中学校献立の量を調整し喫食する方法について課題整理した。
  - ・0.85倍で量の調整を行った場合、252.4円となり、小学校1食あたりの給食費を多少上回るが、1食あたりの小学校給食費250円のままで問題ないとする。
  - ・量を調整した場合の栄養価は、文部科学省が示した、「学校給食摂取基準」の月当たりの充足率を満たしている。見た目問題もない。
  - ・5・6年生につきましては、中学校献立の量を調整した給食で実施したい。
- 委員長 ● 質問や意見を募る。
- 委員 ● よく考えられている。
- 委員 Q コロッケや魚は0.85倍できないが、他で調整したらよいということか。
- 事務局 A その通り。
- 委員 Q アレルギー対応については大丈夫か。
- 事務局 A 西宮は最先端のシステムを使用している。対応できる。
- 小校長・中校長 ● 西宮浜小中ともに栄養教諭がないので、間違いが起こらないためにも配置をお願いしたい。
- 事務局 ● 検討する。
- 委員長 ● この提案で進めてください。

#### 5. 校地間道路について

- ① 校地間道路について ● 「校地間道路」についての審議を行う。説明をお願いします。
- 事務局 ● 校地間道路について説明を行う。
- <主な説明箇所>
- ・平成32年度開校時点での「廃道」については、開校後の状況を見ながら、今後の一貫校の将来構想を描く中で、地域や産業団地の意向も踏まえ、児童生徒の安全対策について協議を継続する。

- |     |  |
|-----|--|
| 委員長 | ● 最初は廃道を目指していたが、課題が見えてきた。意見を募る。                                    |
| 委員  | Q 廃道は、住民、産業団地の理解を得るのは難しい。一部規制ができないか。                               |
| 委員  | Q 廃道は難しいと感じる。将来的には道路も含めた施設の一体化や夙川の桜並木に繋がっていることも含めた設計、ビジョンを考えてはどうか。 |
| 事務局 | A 様々な動きを一体とし、引き続き審議していく。   |
| 委員  | ● 車両通行の時間規制はよいと思う。   |
| 委員  | ● 春風小学校前には押しボタン式信号機があり、警備員もいる。公安委員会と協議ができるとよい。                     |
| 委員  | ● 陸橋ができればよいが、費用も高く難しい。安全に行き来できるものがあればよい。                           |
| 事務局 | ● 今後もこの件の進捗について報告していく。   |

## 6. 学校教育目標について

- |              |  |
|--------------|--|
| 委員長          | ● 「学校教育目標」について審議する。説明をお願いする。   |
| ① 学校教育目標について | ● 学校教育目標について説明を行う。   |
| 小校長          | <主な説明箇所>   |
|              | ・平成 29 年度から両校管理職が一貫校の教育目標を検討し、小中教職員で確認している内容について、報告ではなく提案とする。  |
|              | ・教育目標は、「よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成～自立・協働・創造～」。「自立」は自分自身の成長、「協働」は学校・地域、もっと言えば世界も視野に入れた人との関わり、「創造」は一緒に手を携えて新しいものを創り出していくということ。  |
| 中校長          | ● 提案内容について両校でしっかり話ができています。   |
| 委員長          | ● 意見を募る。   |
| 委員           | Q 今の学校ではなぜできないのか、小中一貫校ならなぜできるのかという質問にどう答えるべきか。   |
| 事務局          | A 自由な学年段階の区切りが可能となる点が義務教育学校の目玉だ。西宮浜小・中も連携しているが、今のままでは 6・3 制を変えることはできない。4・3・2 制を導入することで、子供たちの育ちにあった教育が可能になるかもしれないという前向きな仮説に立てば、義務教育学校の設置は子供たちの現代的な課題に向き合う一つの策だと考える。 |
| 中校長          | A 義務教育学校になることで行事の他、教師の授業の乗り入れなどがもっとできるようになり、安定した教育ができる。  |
| 委員長          | ● 義務教育学校の肝は教育課程。その中身が柔軟に設定可能となる学年段階の区切りで、教師の行き来を丁寧にしていこうと考えられている。いい挑戦をしていると思う。   |
| 小校長          | ● 提案した学校教育目標はあくまでも指標、具体的な取組みはこれから。手をかけないといけない子供が増えている。だからこそいろいろな先生が関わる必要がある。そのことに、西宮浜が挑戦していきたい。  |

- 委員 ● 当初は単学級になる、このままだと維持が難しい、外部から子供たちに来てもらいたいというところでスタートしたと思う。そこで小中一貫型校(併設型)と義務教育学校があり、小中一貫型校ならこれまでとあまり変わらないと考え、義務教育学校に賛成した。今は教育のあり方の話に変わってきていると考えていいのか。
- 事務局 ● 当初から単学級を回避することだけが目的ではなかったことをご理解いただきたい。
- 委員長 ● 「売り」は必要で、その「売り」は教育課程で魅力をとということになる。

## 7. 各種報告について

- ① 校内検討体制について 中校長 ● 校内検討体制について説明を行う。  
 <主な説明箇所>
  - ・平成 29 年度からマリナプラン作成開始
  - ・今後、小中一貫推進委員会を月 1、2 回開催
  - ・管理職部会、教育課程部会、特別支援教育部会、生徒指導部会、特別活動部会、体育・部活動部会の 6 つの部会構成。
- ② 広報について 事務局 ● 広報の仕方について説明を行う。
  - ・市政ニュースは市民の 7 割が利用しており、効果が大きい。
  - ・市政ニュースの 1 面を含めた掲載を予定している。
  - ・その他、ケーブルテレビ、さくら FM、SNS などそれぞれ目的に応じた効果的な周知や広報を検討していく。
- ③ アンケートについて 事務局 ● 本会の運営全般についてのアンケート協力依頼する。
- ④ 庁内開校準備委員会について事務局 ● 第 3 回・第 4 回庁内開校準備委員会の報告を行う。
  - ・これまでは隔月開催であったが、1 月より毎月開催に変更となった。
- ⑤ 前回以降の動向について 事務局 ● 前回(第 3 回設置準備委員会)以降の主な動き」について説明を行う。
  - ・姫路市立白鷺小中学校の PTA としての視察の報告。
  - ・小中両 PTA が「西宮浜小中一貫校 PTA 設置準備会」を立ち上げる。
  - ・1 月 28 日に議会へ所管事務報告をした。各議員より「売り」は何か、高 1 ギャップにならないか、義務教育学校に合う子と合わない子が出てくると思うがどう考えているか、明確な目標は何か、他地区への展開をどう考えているか、といった意見や質問が出た。平成 32 年度 4 月開校は急ぎ過ぎではないか、通学区域特認校制度を利用するなら全市的議論が必要ではないか、という意見もあった。

## 6. 閉 会

- 事務局より事務連絡。次回は 5 月の開催を予定。
- 委員長が閉会を宣言。